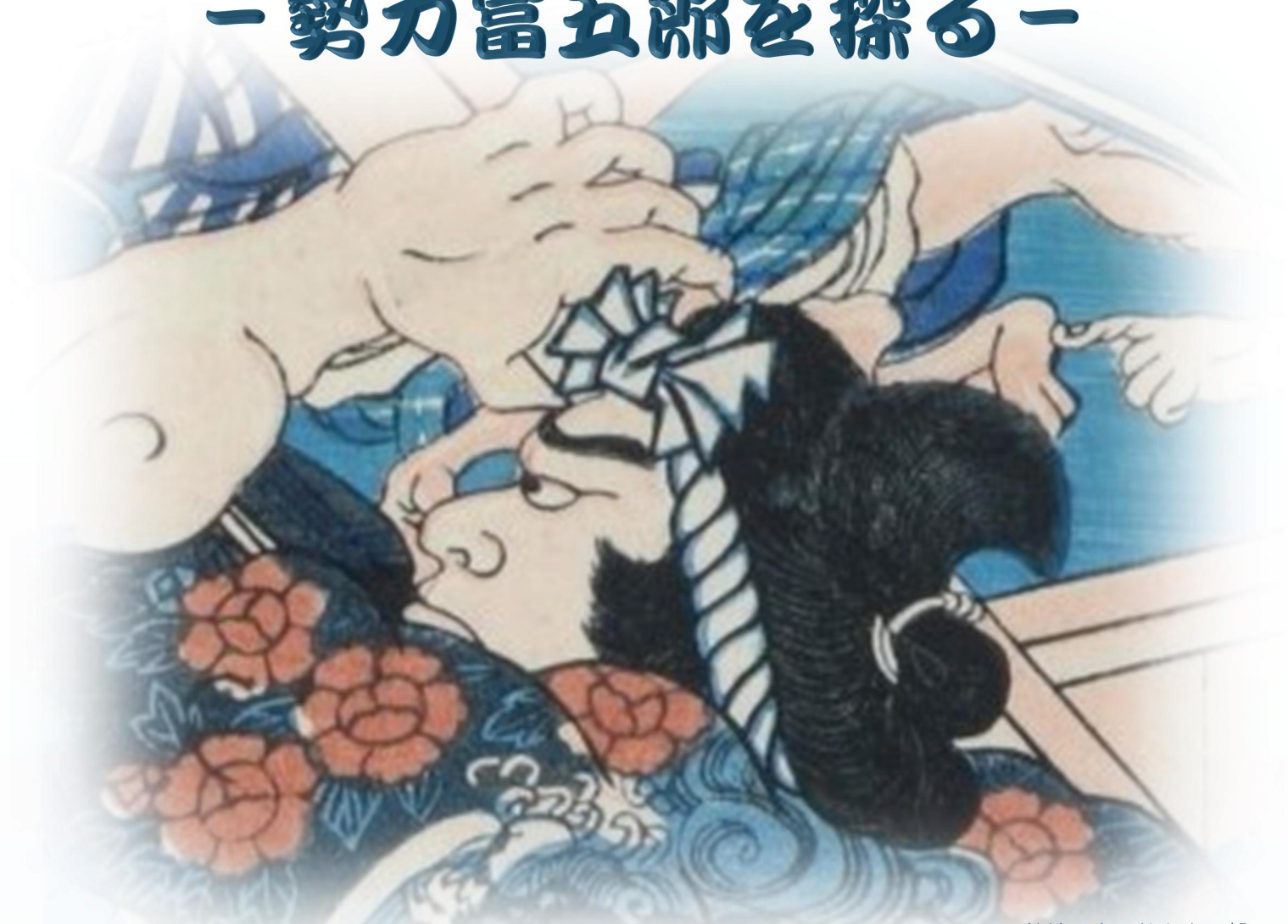


令和8年（2026）夏の企画展

# あさひ捕り物帖

## － 勢力富五郎を探る－



錦絵の中の勢力富五郎

**7月11日(土) ⇒ 9月6日(日)**

開館時間：9：00～16：30

休館日：月曜日（休日の場合は開館し翌日休館）  
祝日の翌日

入館料：大人300円（250円）小中高生200円（150円）  
カッコ内は15名以上の団体料金

解説会：7月11日(土), 8月9日(日), 22日(土)  
11：00, 14：00 各回約30分

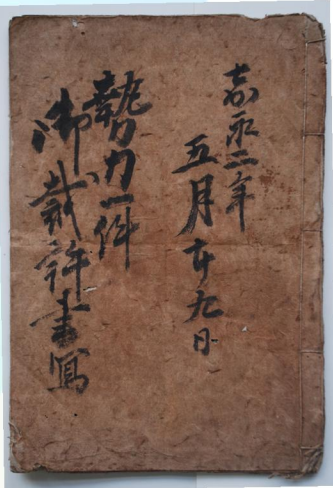
大原幽学記念館

〒289-0502 千葉県旭市長部345-2 TEL0479-68-4933

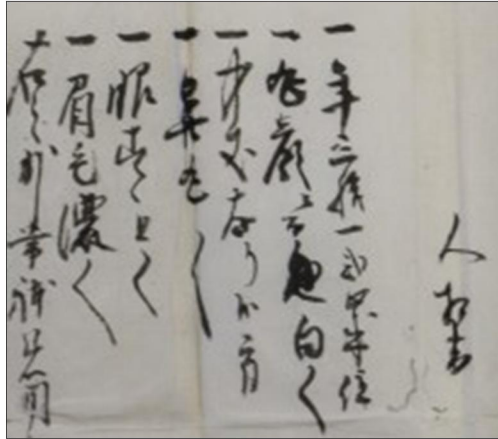


大原幽学が活躍した幕末の東総地域は、博徒の横行など治安の乱れが大きな社会問題となっていました。香取・海匠地域を縄張りしていた博徒勢力佐助らに対し、幕府の大規模な捕縛活動が行われたのは嘉永2年(1849)のことでした。この一件については地域の関心も高かったようで、関係資料が多数残されており、近隣の村々にとっても大事件だったとことがうかがえます。今回はそれらの資料から、当時の社会状況や勢力捕縛一件の経緯、江戸へ伝わった一件が、やがて天保水滸伝と変化していった様子をパネルなどで紹介します。

### 勢力一件に関する記録



勢力一件の記録(旭市岩井)



江戸時代後期の村々では、若者たちの離村や徒党を組んでの横行など、勢力一件と同様の問題を抱えていた。周辺村々の村役人にとってこの一件は決して他所の出来事として済まされない大事件であり関心も強かった。一件の噂はかなり広い範囲に広がっており、現地から遠く離れた村々にも勢力一件の記録が残されている。

#### 勢力の手配人相書(部分)

年は31,2歳、丸顔で色白、背丈は中くらいで太りぎみ、目は鋭く眉毛は濃いとある(袖ヶ浦市郷土博物館保管 個人蔵)

### 勢力の探索



勢力が立て籠もった金毘羅山の遠景(東庄町小南)



勢力探索時の万歳村周辺の絵図(土浦市立博物館蔵)

探索方の目を逃れて周辺村々に潜伏していた勢力一味だったが、広範囲に及ぶ山刈りで子分たちは次々と捕まっていた。勢力も金毘羅山に立て籠もり鉄砲で抵抗をしたが、最後は子分の栄助と自決し一件は落着する。

### 勢力富五郎の誕生



勢力富五郎の碑  
(東庄町笹川延命寺)



#### 勢力富五郎を中心に描いた錦絵

(「近世水滸伝の内笠川髭蔵競力民五郎と計て闇に飯岡捨五郎が妾宅を襲ふの図」慶応3年:1867)

江戸に伝わった勢力一件は、利根川に近い山に籠って幕府に抵抗したことが話題となり、当時人気だった水滸伝になぞられて錦絵や歌舞伎、講談の題材として取り上げられた。やがて勢力一件は天保水滸伝となり、勢力以外にも助五郎や繁蔵、平手造酒などの登場人物も加わっていった。江戸、東京での人気の高まりとともに地元の香取海匠地域でも彼らを紹介する活動が盛んとなっていった。